

第3030回／10月6日 例会報告

※ 幹事報告 中村大祐幹事

幹事報告をご覧ください。

●13日の例会はガバナー公式訪問になります。

13:50よりクラブ協議会があります。

●20日の例会は、23日のポリオデー駅前募金活動へ変更になります。また21日～23日の市産品フェアでもウクライナ募金活動を行います。ポリオTシャツ着用をお願いします。

●19日に蓮田RCの例会で米山奨学生のピンピンさんが卓話します。Make-Upをお願いします。



※ 出席報告 内田剛史委員

本日分	10月6日	Zoom参加	4名
会員数	101名	Make-Up	1名
会場参加	45名	出席率	52.08%



※ ニコニコ資金報告 多田竜一委員長

前日までの累計	410,000円
本日の計(39件)	49,000円
本日までの累計	459,000円



来週のガバナー訪問、よろしくお願いします。

伊藤高太郎第11グループガバナー補佐

伊藤ガバナー補佐ようこそ

第11グループガバナー補佐伊藤様、お越し下さりありがとうございます。

伊藤ガバナー補佐ようこそ川口クラブへ！

伊藤ガバナー補佐様ようこそ

ようこそ川口RCへ

伊藤ガバナー補佐ようこそ

同様の趣旨で

白井靖会長

中村大祐幹事

網谷徹己会員

竹ノ谷裕子会員

田中徳兵衛会員

寺田美津司会員

永井牧会員

※ 本日の行事

● 会員誕生祝



増田泰久会員、白井靖会長、新井秀雄会員、小倉克徳会員

柴垣様、羽賀田様、卓話よろしくお願いいたします。

白井靖会長

柴垣様、羽賀田様、本日は卓話よろしくお願いいたします。

中村大祐幹事

柴垣様、羽賀田様、卓話楽しみにしています。

佐藤進会員

本日の卓話楽しみにしています。宜しくお願いします。

浅沼良成会員

子どものための日本語教室。おとなにもおしえて下さい。

寺田美津司会員

同様の趣旨で 朝日恵子会員、請川かおり会員、小川長四郎会員、緒方利明会員、佐藤龍会員、齋藤幸雄会員、田中徳兵衛会員、増田泰久会員、渡部行光会員、砂沢学賦会員、多田竜一会員

60代最後の誕生日です。

誕生祝、有り難うございます。

誕生祝、有り難うございます。

誕生祝、おめでとうございます。

おめでとうございます。

新井秀雄会員

小倉克徳会員

増田泰久会員

白井靖会長

田中徳兵衛会員

先週の入会祝忘れていました。

先週入会祝頂いちゃいました。

21-23日、市産品フェアみなさまの参加お待ちしてます。ぜひ！

私のリサイタル12月12日(月)です。どうぞよろしくお願い致します。

来年1月フランスへ財団奨学候補生に会いに行きます。ロシア上空を通れないので直行便で14時間かかります。

早船雅文会員

白井靖会長

森絹子会員

篠田元一会員

本庄久子会員

早船雅文会員

※ ようこそ

第11グループガバナー補佐の伊藤高太郎様が、13日のガバナー公式訪問に向けてお越し下さいました



● 卓話

かわぐち子どものための日本語教室 代表 紫垣恵子 様・羽賀田茂 様



教室の概要（2022年9月現在）

活動日時： 毎週火曜日 午後5時～8時、
→3時間を半分ずつに分け、1.5時間ずつの二部制

活動場所： かわぐち市民パートナーズステーション、
会議室3&サロン(ブルー、パープル、イエロー)

対象年齢： 川口市在住の小中学生(入室希望者は親子で面談)
現在合計27人
うち小学生21人、中学生6人
(フィリピン2, タイ1, 中国10, 韓国1, ベトナム5, その他2)

ボランティア： 9人（男性5人、女性4人）

教室風景

- ・ 基本は1対1で教えるのですが、スタッフが不足して…
- ・ 中国語圏出身の子どもが多くなっている
- ・ フィリピンやバキスタンといったアジア諸国の出身やガーナやナイジェリアといったアフリカ諸国出身の子どももいる
- ・ ベトナムの子どもはまだこれからなのか
- ・ スタッフは市のボランティア講座を卒業した方が多いのですが、個別に連絡をくれて参加してくれる方も



主な活動内容

1. 外国籍の小・中学生への日本語指導等
 - ▶ 日常会話、ひらがな、カタカナから、漢字など
 - ▶ 他教科の宿題支援（算数の文章問題、英語学習他）
 - ▶ 日本国籍で帰国した児童もいる(帰国子女)
2. 児童と保護者に日本の教育制度を説明
 - ▶ 川口市小・中学校に於ける日本語指導のシステム
 - ▶ それらの申込方法も具体的に伝える

主な課題

- ▶ 子ども一人ひとり個人差があるため、同時に学習が難しい
- ▶ ボランティアスタッフが少ないため、きめ細かな対応が難しい

外部からの表彰

- 2018年：川口市長賞
川口市社会福祉大会において（推薦）、川口市長から表彰
- 2019年：福祉大会賞
埼玉県社会福祉大会において（推薦）、福祉大会会長から表彰
- 2021年：埼玉県知事賞
埼玉県社会福祉大会において（推薦）、埼玉県知事から表彰



学習方法(どんな教え方？)

- ▶ 来日間もない場合は、まずはひらがな・カタカナから
- ▶ 慣れたカードやパズルやカルタも使いながら、簡単な日常会話や名詞（食べ物、動物他）などを教える
- ▶ 学校の宿題から済ませる⇒宿題をとおして日本語を教えるのが実践的
- ▶ 本読みや作文、算数・数学の文章問題などには、1対1で対応
- ▶ 日本の地理や歴史も大変苦手(知らない国の日本を学ぶのは大変)とする
⇒ 地図を使ったり歴史上の人物(伝記)などは、時には漫画を使って視覚に訴え教えることもある(中央図書館を利用)
- ▶ ゆっくりとおしゃべりに付き合ってあげる時間や、日本語で遊ぶ時間も大切

対応策

- ▶ 「二部制」 → 3時間を1時間ずつに分けてなるべく先生対生徒が1:1になるように
- ▶ 「学習記録」の作成 → 日本語のレベルが同じような場合は同時に指導することもあるが、その子によって得手不得手も違うので、一人ひとりのレベルに合わせた学習支援ができるように、また担当するボランティアが変わっても引き継ぎできるように、毎回「学習記録」を残し、それを見て他のボランティアも対応できるように工夫している
- ▶ 「自主性の育成」 → 何をやりたいかを尋ねて、自主性も育てたいと考えている。
- ▶ 「休憩」をとる → 集中力を養う(特に小学1年生、その子に合わせる)

やりがいい(嬉しかったこと)

- ▶ 時々卒業生が、日本語を教えるに手伝いに来てくれることがある
- ▶ 学校と家庭以外の第3の場所(コミュニティ、憩いの場)に なれていると嬉しい
- ▶ 文化を共有し、支えあい、将来の日本との懸け橋になって くれることを願う